

令和 2 年度加東市社地域小中一貫校基本・実施設計作成業務委託

公募型プロポーザル審査結果報告書

令和 2 年 8 月

加東市社地域小中一貫校基本・実施設計作成業務委託

加東市プロポーザル審査委員会

令和2年度加東市社地域小中一貫校基本・実施設計作成業務委託に係る
公募型プロポーザル審査結果の報告について

下記の業務について公募を行い、受託候補者の選定に当たり、令和2年度加東市社地域小中一貫校基本・実施設計作成業務委託に係る加東市プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）において審査した。

1 業務の概要

(1) 業務名

令和2年度加東市社地域小中一貫校基本・実施設計作成業務委託

(2) 業務期間

契約締結日の翌日から令和4年3月25日まで

2 選考の経過

・実施の公告	令和2年6月 5日（金）
・参加申込書の提出期限	令和2年6月25日（木）
・一次審査	令和2年6月30日（火）
・一次審査結果通知	令和2年7月 1日（水）
・質問書提出期限	令和2年7月 8日（水）
・質問書回答期限	令和2年7月15日（水）
・企画提案書提出期限	令和2年7月29日（水）
・二次審査	令和2年8月 7日（金）
・二次審査（選定）結果通知	令和2年8月17日（月）

第1回審査委員会

開催日	令和2年6月1日（月）
場 所	加東市役所 2階 202会議室
出席者	7名（欠席者なし）
概 要	①委嘱状・任命書交付 ②委員長・職務代理者選出 ③実施要領（案）等の確認

第2回審査委員会

開催日	令和2年8月7日（金）
場 所	加東市役所 2階 201会議室 4階 402会議室
出席者	7名（欠席者なし）
概 要	①審査に係る事前打合せ ②プレゼンテーション及びヒアリング ③審査表集計・受託候補者選定

3 受託候補者の選定

(1) 選定方法

受託候補者の選定に当たっては、審査委員会を設置し、審査委員7名が実施要領に記載した評価基準に基づき、審査した。

(2) 評価基準

審査に当たっては、実施要領に記載した評価基準及び配点に基づき、評価を行った。評価基準における代表的な項目は次のとおりである。

ア 事業所評価

- ・業務実績の内容及び業務実施体制

イ 配置技術者評価

- ・配置技術者の能力等

ウ 企画提案評価

- ・加東市がめざす小中一貫教育が推進できる学校
- ・快適でゆとりのある学校
- ・既存施設と増築施設（改築含む）との一体的な利用
- ・だれもが楽しく通える安全・安心な学校（工事中も含む）
- ・管理しやすく、使いやすい学校
- ・ライフサイクルコスト縮減の工夫
- ・地域を愛し、地域に愛される学校
- ・業務委託仕様書に掲げる基本方針・建設工期との整合性

エ ヒアリング評価

- ・取組意欲

オ 価格評価

- ・本業務見積金額の妥当性

4 審査結果

審査の結果、次の者を受託候補者として選定することに決定した。

- (1) 受託候補者 株式会社大建設計 大阪事務所
- (2) 所在地 大阪府大阪市西区京町堀1丁目13番20号
- (3) 審査結果表 別紙のとおり

5 審査概要

加東市では、小学校と中学校の垣根を越えた系統性・連続性のある教育活動を行い、義務教育9年間を通して自立した子どもを育む小中一貫教育の推進に当たり、その理念に則った小中一貫校を新たに建設するための設計を行う。

小中一貫校の設計には、教育及び教育施設への知見、過去の実績等、高い専門性が不可欠である。入札金額のみで選定するのではなく、実績、技術力、企画力、創造性等を勘案し、総合的な見地から判断して最適な設計者を選定する必要があることから、「公募型プロポーザル方式」により公募することとした。

一次審査では、10者から参加申込書の提出があり、参加資格要件の確認及び関係書類の評価を行い、参加申込者10者のうち上位6者を一次審査通過者とした。

二次審査では、6者から提出された企画提案書について、それぞれ30分間のプレゼンテーションとそれに対する20分間のヒアリングを実施した。的確性、独創性、実現性、妥当性や業務に対する取組意欲などについて総合的に評価し、受託候補者を選定した。

6 企画提案書の審査講評

(1) 全体講評

本業務の特徴として、「加東市がめざす小中一貫教育が推進できる学校」「快適でゆとりのある学校」「地域を愛し、地域に愛される学校」等の小中一貫校としての基本的な設計方針とともに、既存の中学校校舎を利用した増改築計画であること、さらに中学校については授業等の教育活動や課外活動を実施しながらの工事となることから、設計者には特に「既存施設と増改築施設との一体的な利用」や、工事中を含めた「だれもが楽しく通える安全・安心な学校」を提案できる高い設計能力が必要とされている。

その中で、公募型プロポーザル（二次審査）に対して6者の参加があり、限られた期間であったにもかかわらず、それぞれに工夫が凝らされた高いレベルの提案が数多く見られた。審査委員会では、各委員の専門性を活かしつつ、中立・公平な立場から、また様々な観点から提案者に質疑回答を実施した上で評価を行った。

今回の企画提案の内容としては、既存施設との関係を含めた増改築施設の全体的な配置として、大きく分けて3通りの提案があった。

①基本計画における配置・平面計画の検討を踏まえた上で、さらに既存施設との一体的な利用を図りつつ、増改築施設を機能的でコンパクトにまとめることにより、屋外運動施設の規模を確保しながら、工事中の安全面に配慮し、管理しやすく、使いやすい学校とする提案が2者からあった。

②基本計画における配置・平面計画の検討を参照しつつも、増改築施設は既存施設を避けた配置とし、①と同様に機能的でコンパクトにまとめることにより、増改築施設

の工事中も既存施設を継続して使用でき、工事中の安全の確保と、工期・工事費を抑える提案が1者からあった。

③基本計画における配置・平面計画の検討と異なり、既存中学校校舎の南側に平行して、東西いっぱい増改築施設を配置することにより、教室等の配置や動線をシンプルでわかりやすくまとめた提案が3者からあった。

これらの配置計画の中では、屋外運動施設の規模の確保、運営や管理のしやすさ、工事中の安全面などの理由により、増改築施設を機能的でコンパクトにまとめる①②の提案が高く評価された。一方で、屋外運動施設の規模が制限され、また、工事中に、既存校舎と屋外運動施設が増改築施設の工事現場で長期分断されてしまうことになる、東西いっぱい増改築施設を配置する③の提案はあまり評価されなかった。

その中において、受託候補者の提案は①の配置計画としながら、増改築施設を3階建てとして工期・工事費を抑える計画となっていること、各学年の学級数の変動に対する対応の自由度が高いこと、異学年交流や地域連携の施設計画、社地域のシンボルとなる庇や屋根の要素を取り入れた外観、校舎と屋外運動施設のゾーニングが明快で、既存の教育環境が維持されているなどの点において高く評価された。さらに、工事中の工事車両進入路についても、安全上および屋外運動施設の利用上の配慮がなされた提案となっている点も評価された。

なお、審査委員会においては、受託候補者の提案に対する課題として、職員室・保健室・図書室・プール等の位置、体育館の広さ、中庭の運用およびメンテナンス、非常時の避難および避難所としての計画、バスロータリー・駐車場・駐輪場まわりの計画、既存農園の代替などの更なる検討と調整を求めるものである。

(2) 個別講評

<受託候補者>

全体講評に記載した通り、配置計画は①であり、増改築施設を機能的でコンパクトにまとめながら、全ての企画提案項目についてバランス良く高いレベルの提案となっている。企画提案のうち、特に「快適でゆとりのある学校」「だれもが楽しく通える安全・安心な学校（工事中も含む）」「管理しやすく、使いやすい学校」「業務委託仕様書に掲げる基本方針・建設工期との整合性」の項目で最も高い評価を受け、ヒアリング評価、価格評価を含めた総合評価においても最も高い評価を受けた。

<次点者>

配置計画は②であり、次点者のみが増改築施設は既存施設を避けた配置とすることにより、工事中の安全面および教育活動・課外活動の実施への配慮を行った提案が評価さ

れた。一方で、屋外運動施設の低学年と高学年のゾーニングが明快でない点、増改築施設周辺に盛土が必要となる点についての指摘があった。さらに、プール位置については審査委員の間で意見が分かれた。また、仕様書の内容を十分理解した上で、無駄なくコンパクトで明快な施設計画となっており、特に、図書室と特別教室、オープンスペース、吹き抜けなどを組み合わせたアクティブラーニングを実践する場や、バスロータリーを広場として利用する提案についても高く評価されたものの、オープンスペースや吹き抜けの利用、教室周りの死角、地域のシンボルとしての面などについては評価が得られなかった。企画提案のうち、複数の項目について最も高い評価を受けたが、ヒアリング評価、価格評価を含めた総合評価において次点となった。

<第3位>

配置計画は①であり、増改築施設を機能的でコンパクトにまとめ、中庭を囲む回廊を設けている点や、地域開放部分のまとまり、地域のシンボルとなる勾配屋根を組み合わせた外観、体育館の避難所運営に対する配慮などは高く評価された。一方で、異学年や地域の交流施設の中心に機能が限定される技術室や英語室を配置している点は、施設利用上や技術室の音などに対する懸念が挙げられた。また、高木を植えた中庭や屋上菜園・屋上テラスの提案は、利用やメンテナンスの点から評価が得られなかった。学年ユニットの配置については、各学年の学級数の変動に対応しにくいこと、教室まわりに死角ができる点、中庭に面した特別支援教室への採光などについての指摘があった。

<第4位>

配置計画は③であり、増改築施設を3階建てとし、教室等の配置や動線をシンプルでわかりやすくまとめた提案となっている。子どもの目線で考えられているという評価の一方で、屋外運動施設の面積が小さく窮屈になっている点や、地域との交流や歴史・文化に対する積極的な提案が見られず、ガラス張りの外観も地域のシンボルの面から評価が得られなかった。芝生の中庭が広く、ステージを設ける提案となっているが、そのために校舎棟面積が小さくなっており、教室周りにゆとりがなく、各学年の学級数の変動に対応しにくい点も指摘された。さらに、工事中に既存校舎と屋外運動施設が増改築施設の工事現場で長期分断されてしまう問題が挙げられた。

<第5位>

配置計画は③であり、教室等の配置や動線をシンプルでわかりやすくまとめた提案となっている。地域の意見を聞いて設計を進める姿勢やSDGsへの取り組みの立案、避難所機能に対する配慮、スクールバスの発着などが評価された。一方で、5・6年と7年の教室が離れている、教室周りにゆとりがない、異学年交流スペースの積極的な提案が見られない、屋外運動施設の低学年と高学年のゾーニングが明快でないなどの点が指摘され

た。また、バルコニーから教室に出入りする提案は、一定の評価ができるが運用が難しいという懸念が出された。さらに、工事中に既存校舎と屋外運動施設が増改築施設の工事現場で長期に分断されてしまうことや、仮設体育館とする点、既存校舎を長期休業期間のみで改修する工程に問題が挙げられた。

<第6位>

配置計画は③であり、増改築施設を3階建てとし、教室等の配置や動線をシンプルにまとめた提案となっているが、5・6年と7年の教室が離れている、教室配置にゆとりがない、中庭に面した教室の採光が良くない、中庭のメンテナンス、屋外運動施設の面積が小さく窮屈になっているなどの懸念が指摘された。さらに、工事中に既存校舎と屋外運動施設が増改築施設の工事現場で長期に分断されてしまうことや、既存校舎を増改築施設の工事と並行して休日や長期休業期間のみで改修する工程に問題が挙げられた。企画提案書としては、全体的に提案の具体性が見られなかった。

7 おわりに

今後、受託候補者には基本・実施設計の各段階において、今回の提案内容をもとに、市の意向を最大限尊重しながら、社地域にふさわしい、より充実した小中一貫校の実現に向けて尽力されることを期待する。

最後に、審査委員会として、全ての参加者の本プロポーザルに真摯に取り組まれた熱意と努力に対して敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

令和2年8月

加東市プロポーザル審査委員会委員長

審査結果表

■一次審査

評価項目		配点	評価点					
			(株)大建設計 大阪事務所	参加者A	参加者B	参加者C	参加者D	参加者E
事業所の 評価	業務実績の内容	18点	15.0	13.0	12.0	13.0	15.0	12.0
	業務実施体制	7点	4.0	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0
配置技術 者の能力 等	管理技術者の能力等	5点	3.9	4.5	4.2	3.6	4.5	4.2
	建築（総合）技術者の能力等	5点	3.6	3.6	3.6	3.6	2.8	3.9
	建築（構造）技術者の能力等	5点	4.1	3.6	3.6	3.3	3.2	3.6
	電気設備技術者の能力等	5点	3.6	3.6	3.6	3.6	4.1	4.2
	機械設備技術者の能力等	5点	3.6	4.2	3.6	3.6	2.5	3.6
一次審査評価点		50点	37.8	37.5	35.6	35.7	36.1	36.5

■二次審査

評価項目		配点 (審査委員1 人当たり)	評価点（審査委員7人の合計）					
			(株)大建設計 大阪事務所	参加者A	参加者B	参加者C	参加者D	参加者E
企画提案 内容	加東市がめざす小中一貫教育 が推進できる学校	10点	56	48	44	52	60	44
	快適でゆとりのある学校	10点	54	48	50	54	52	46
	既存施設と増築施設（改築含 む）との一体的な利用	10点	52	50	46	48	56	44
	だれもが楽しく通える安全・ 安心な学校（工事中も含む）	10点	56	50	46	42	56	38
	管理しやすく、使いやすい学 校	10点	52	42	50	48	48	44
	ライフサイクルコスト削減の 工夫	10点	48	46	50	46	54	40
	地域を愛し、地域に愛される 学校	10点	50	52	42	42	54	42
	業務委託仕様書に掲げる基本 方針・建設工期との整合性	10点	56	46	48	48	54	44
ヒアリン グ	取組意欲	10点	58	54	50	48	56	46
価格	設計業務見積金額の妥当性	10点	70	70	70	70	42	70
二次審査評価点		100点	552	506	496	498	532	458